

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1 概要報告

昨年は、国難ともいえるべき新型コロナウイルス感染症拡大により、私たちの日常生活は一変させられました。四月に緊急事態宣言が出され、社会経済活動は大きな打撃を受けました。幸い宣言が解除されて以降は、徐々に経済活動は回復してきましたが、年末にきて欧州各国におけるロックダウン、二月には国内での第三波の襲来による二度目の緊急事態宣言発令など、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

コロナ禍により当センター事業にも大きな影響が出ています。年度当初、契約金額や就業延人員が大きく落ち込みました。その後は、派遣の堅調な推移等もあり、事業規模は回復基調に向かいましたが、年度末になり、再度の緊急事態宣言下、会員の就業機会の中断・縮小という事態も発生して契約金額を落としました。また、センターとして初めて有料職業紹介事業に取り組み、臨時的かつ短期的又は軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者に仕事を紹介しました。事業実績は、請負事業では契約金額 192,149 千円(対前年比 9.5%減)、派遣事業は契約金額 50,627 千円(対前年比 41.7%増)、有料職業紹介事業 511 千円で、会員への配分金・会員賃金は 193,519 千円(対前年比 3.9%減)となりました。

会員数については、前年度末 426 人に対して 438 人で 12 人の増となりました。全国各地のセンターが大幅に会員を減らす中において、三年ぶりに増加しました。会費の見直しや魅力あるセンターづくりに取り組んだことが要因と思われれます。

安全就業では「安全は全てに優先する」のスローガンのもと、会員へ継続的な安全就業の声かけやパトロールの取り組みを行いましたが、残念ながら就業中の事故が 3 件発生しました。今後も引き続き、会員の安全意識の高揚と安全対策に努め“事故ゼロ”への取り組みが求められます。

適正就業については、国の示した適正就業ガイドラインに沿い、発注者の理解を得て請負から派遣への切り替えを進めました。

以下、事業実施状況について報告いたします。

2 事業実施状況

(1) 会員の拡大

センター発展の基礎となる会員の拡大を重点課題ととらえ、新規入会者を増

やすため、次の取り組みを行いました。

- ① センター会報「匠」、ホームページによるシルバー事業の市民周知
- ② ハローワーク八鹿との連携による就業相談会の開催（9回開催）
- ③ 入会説明会（23回開催、参加者62名）
- ④ 高齢会員、夫婦会員の年会費減額による入会促進
- ⑤ 会員友の会事業の充実
- ⑥ 高齢者を対象にしたスマートフォン講習会開催によりシルバー事業を周知
(各年度3.31現在)

年度	養父市総人口	60歳以上人口	会 員 数		
			会員数	男性	女性
R 1	23,087名	10,585名	426名	236名	190名
R 2	22,634名	10,464名	438名	240名	198名
昨対比	△453名	△121名	+12名	+4名	+8名

(2) 就業機会の確保・拡大

センターを更に発展させるためには、会員の拡大とともに、会員の就業機会を確保・拡大することが重要であり、公共機関等に継続的な仕事の発注をお願いするなど就業開拓を行いました。

職群部会の事業実績

(単位：千円)

年度	植木剪定	運転	草刈	襖・障子	福祉
R 1	8,529	27,293	12,696	1,266	12,460
R 2	8,181	8,477	13,398	1,002	10,394
昨対比	95.9%	31.1%	105.5%	79.1%	83.4%

就業機会確保・拡大のために次の活動を行いました。

- ① センター会報「匠」によりシルバー事業を紹介（8月・1月 年2回発行）
- ② 一般就業先・派遣事業先へPR用リーフレットを配布
- ③ 市長・議長へ要望書を提出
- ④ センターの情報をホームページ、フェイスブックで紹介
- ⑤ ボランティア活動

市内4地域において次のとおり実施

月 日	内 容	参加者数
7月4日	八鹿地域：養父市役所周辺清掃作業	32名

7月11日	養父地域：養父地域局周辺清掃作業	30名
7月11日	大屋地域：大屋地域局周辺清掃作業	14名
7月18日	関宮地域：関宮地域局周辺清掃作業	19名

(3) 女性会員の増強と就業機会の拡大事業

① 笑いと健康お届け隊

養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）を目的に、会員が「笑いと健康お届け隊」の隊員となり、各地域に出向き高齢者を対象にフレイル予防教室を行っています。会員となって活動を希望する女性会員が増えています。

隊員数 44名 会員就業延人日数 469人日

② 女性会員にふさわしい地域に密着した就業

家事援助、子育て支援など福祉分野で会員が活躍しています。令和2年度、2名の女性会員が「子育て支援員」の研修を受講し、資格を取得して市内の認定こども園等で保育の補助業務に従事しました。

- ・新総合事業訪問型サービス 利用者3件、会員就業延人日数80人日
- ・養育支援訪問 利用者1件、会員就業延人日数11人日
- ・学童保育 6施設、会員就業延人日数28人日
- ・保育補助 3施設、会員就業延人日数1,454人日
- ・子育て支援ヘルパー 利用者1件、会員就業延人日数16人日

③ あゆ公園内レストランを再始動

休業していたあゆ公園内のレストランの営業を、観光客が多く訪れる夏季期間に再開し、女性会員の就業機会の拡大に努めました。

会員就業実人員12人、就業延人日数255人日

④ 手芸品の作成など魅力ある活動

女性会員が「手芸の会」のグループ活動により、手芸品等を作成して販売しました。

⑤ 学校との連携と交流

笑いと健康お届け隊が、市内の学校で、地域で取り組むフレイル予防を体験してもらうなど交流を図りながら教示しました。

- ・公立八鹿病院看護専門学校（老年看護援助論授業1回4名参加）
- ・第一学院高等学校養父校（対面授業1回5名、リモート授業4回4名参加）

(4) 補助事業（国・市）

センターでは、国と市の補助事業である「地域就業機会創出・拡大事業」と「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用して、地域の課題解決を会員の新たな就業に結び付けるとともに、地域の活性化に資する事業を行いました。

た。

① 地域就業機会創出・拡大事業

<わくわく学ぶ農活事業>

都市部の農業に関心がある個人や団体等に、空き農地を利用したオーナー制度を導入し、養父市で交流と農業体験を提供しました。利用者に農作物の栽培管理や専門的な技術を指導するなど、会員の新たな就業の機会の創出を図りました。

事業実績は、利用者(団体)数：6名(団体)、利用面積：505㎡です。

② 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

<楽農応援事業>

人口減少、高齢化など様々な要因で農地の維持ができなくなり、耕作放棄地が増える中で、センター自ら荒廃の進む中山間地の農地を借り受け、有機によりお米などの農産物を栽培して、養父市ブランドとして都市部の住民や飲食店、給食センター等へ販売しました。また、農業を「健康維持」や「生きがい」とする会員が多いことから、会員が栽培する農産物をセンターが集荷して都市部で販売し、“儲かる農業”を推進して、高齢になっても楽しく農業ができるよう応援しました。

主な実績は次のとおりです。

区 分	販 売 先
シルバー関係	明石市 SC、伊丹市 SC、宝塚市 SC、芦屋市 SC、西宮市 SC 門真市 SC、町田市 SC
イベント関連	明石市
民間関係	民間企業3社

<フレイル予防事業>

健康で安心して暮らせるまちをめざし、養父市と連携してフレイル予防（虚弱の先送り）事業「毎日元気にクラス」に取り組んでいます。会員が“笑いと健康お届け隊”となり、養父市内に出向き、各地区週1回1時間程度の教室で、健康につながる「運動」「栄養」「社会」プログラムを伝えています。参加者や会員がともに元気で明るく楽しい毎日を送れるようにと事業を行いました。令和2年度は、毎日元気にクラス教室を10地域で実施するよう予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4地域の実績に留まりました。

笑いと健康お届け隊の活動実績は次のとおりです。

【毎日元気にクラス教室】

年度	開 催 地 区	延参加者数	延会員数
H28	13 地区	3,192 名	752 名
H29	11 地区・1 校区	2,537 名	645 名

H30	11 地区	3,521 名	737 名
R 1	10 地区	2,874 名	712 名
R 2	(R1 年度繰越地区) 稲津・大屋市場・船谷・一部の 4 地区 (R2 年度実施地区) 中八木・米里・栄町・左近山の 4 地区 第一学院高等学校・公立八鹿病院看護 専門学校・ミニディ等イベント	1,255 名	311 名

【継続地区フォローアップ】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H28	4 地区	38 名	7 名
H29	15 地区・1 校区	171 名	28 名
H30	13 地区	153 名	24 名
R 1	29 地区・1 校区	323 名	59 名
R 2	筏・福定・大藪・旭町・高中・養父市場・諏訪町・駅前・関宮・奥米地・栗ノ下・寄宮・堀畑・轟・三宅・森・蔵垣・野谷・長野・石原・中央・上網場・朝倉・小山・京口・椿色・中米地・青山・大森・宮垣・中瀬・天子・大塚・建屋・明延・馬瀬・下八木・下町・宮町・宮本・九鹿・藪崎・船谷・一部・稲津・大屋市場	447 名	109 名

【継続地区体力測定】

年度	開催地区	延参加者数	延会員数
H30	33 地区・1 校区	418 名	65 名
R 1	33 地区・1 校区	363 名	63 名
R 2	筏・福定・大藪・旭町・栗ノ下・上網場・小山・京口・椿色・大谷・九鹿・奥米地・宮垣・大森・堀畑・諏訪町・能座・宮本	184 名	49 名

【研修会等】

内 容	回数	延参加会員数
寸劇研修	2 回	23 名
スキルアップ研修	4 回	51 名
“笑い与健康お届け隊” 第 8 期生養成研修	5 回	11 名

(5) 独自事業（手芸品）

月に2回、女性会員相互の交流を深めながら、独自事業として手芸品づくり活動をしています。手芸品のリフォームも含め、作った手芸品を販売しました。会員の丁寧な作品が好評を得ています。

(6) 有料職業紹介事業

高齢者の雇用機会の拡大を図るため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業を紹介します。令和2年度、センターとして初めて有料職業紹介事業に取り組み、32人に職業紹介しました。

(7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

高齢者の多様な働き方を確保するため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する労働者派遣事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する会員と雇用契約を締結し、会員を事業所等へ派遣します。実施に当たっては、協会と緊密な連携を図りながら事業を実施しました。契約金額は50,627千円で、対前年比41.7%増となり派遣事業の割合が伸びています。

(8) 養父市委託事業

養父市から次の事業をセンターが受託して実施しました。

① 大屋生活支援ハウス事業

養父市が設置する大屋生活支援ハウス事業の一部を受託し、入居者の支援を行いました。

② 放課後ふるさと教育事業

養父市が行う放課後ふるさと教育事業を受託し、「ふるさと伝承体験学習講座」を市内のこども園並びに学童クラブにおいて次のとおり実施しました。

3 安全・適正就業の推進

安全はすべてに優先することを最優先として安全就業に取り組む中、令和2年度は就業中に事故が3件（請負2件、派遣1件）発生しました。

適正就業については、国が作成した適正就業ガイドラインに沿った適正な就業形態となるよう努めました。令和2年度から、運転業務は全て派遣事業で実施しました。

① 安全技能講習会の実施

月 日	講 習 会 等 名	参加者数
6月30日	草刈部会（草刈機取扱い講習）	17名
11月24日	安全運転管理者講習会	1名

3月9日	運転部会（安全運転講習）	21名
------	--------------	-----

② 安全委員会等安全推進会議の開催

14回開催

③ 安全パトロールの実施

安全委員、安全就業推進員、職員等による現地パトロールを随時実施

④ 兵庫県警本部主催「無事故無違反運動 チャレンジ100」

6チーム（60名）参加

⑤ 安全就業の啓発

啓発チラシ 毎月配布

⑥ 就業の交代制、ローテーションによるワークシェアリングの推進

⑦ シルバー会員に相応しい就業の取り組み

4 視察交流研修

9月25日、当センターの役員と職員は、(一社)明石市シルバー人材センターを訪問し、会員数及び事業高の増加について視察研修を行いました。

5 大学等の研究・研修への協力

① 兵庫県立大学看護学部（フレイル予防事業の実習）

② 関西学院大学理工学部（蛇紋岩土壌での植物栽培の研究）

6 友の会事業

会員の福利厚生に伴う事業を行いました。

① 友の会運営委員会の開催（4回開催）

② 日帰り親睦研修旅行

10月4日(日)に72名の参加で、鳥取県倉吉方面へ

③ グラウンドゴルフ同好会活動

④ 手芸同好会活動

⑤ 慶弔関係 4件

7 法人としての一般事業

総会、理事会等の開催

① 定時総会

5月29日に(公社)養父市シルバー人材センター大会議室において開催

② 理事会（6回開催）

5月8日、5月29日、6月17日、9月15日、12月10日、3月22日

③ 監事監査（年2回）

4月27日、11月4日（中間監査）